

第 1 回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会 会議録

1. 開催日時 平成 24 年 4 月 19 日（木）午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分
2. 開催場所 豊橋市役所政策会議室（東館 4 階）
3. 出席者 委員 6 名（伊藤委員、大久保委員、功刀委員、世羅委員、富田委員、
村松委員）
豊橋市 5 名（佐原市長、金田総務部長、古池行政課長、牧野行政課
主幹、仲井行政課長補佐）
4. 欠席者 石原委員、諏訪委員
5. 会議概要 以下のとおり

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	<p>定刻となりましたので、ただ今から、第 1 回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。</p> <p>本日は、大変ご多忙のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は、この外部検証委員会の事務局を務めています行政課長の古池と申します。本日は、第 1 回目の会議ということで、委員長及び副委員長が選出されるまでの間、進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ここで第 1 回の開催にあたりまして、佐原豊橋市長より一言ご挨拶申し上げます。</p>
佐原市長	<p>委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、「豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会」の委員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。</p> <p>本市では、平成 23 年から平成 27 年を計画期間とした行財政改革プランにより、「豊橋の活力」の向上に向けた取組みを進めております。</p> <p>私ども職員は市役所の中で妥当だと思っていることが市民の視点から見た場合は果たしてどうなのか、そうしたことを考える中で行財政改革を進めております。</p> <p>今年度、新たな取組みとして外部検証委員会を設置し、各分野でご活躍されている皆様に行財政改革の取組状況を検証していただき、プランの着実な推進を図って参りたいと考えております。</p> <p>委員の皆様には、プランの取組への評価・検証を行っていただくとともに、幅広い視点からご意見を承りたいと思っております。</p>

発言者	要 旨
	<p>す。</p> <p>本日お集まりいただいた委員の皆様は様々な分野で活躍されています。女性の委員が半数を占めているということで、これまでの視点に加え、男性にはない視点で行財政改革を見ていただけたらと思っております。</p> <p>7月には公開の場で評価・検証していただく公開ヒアリングを予定しております。そこでは、市役所における行財政改革の取り組みを市民に知っていただき、また市民の意見をお聞きし、さらなる行財政改革の推進に向けてどうしていくべきかをみんなで考える場にしたいと考えております。</p> <p>事業仕分けのように廃止・継続といった二元論的なものにするのではなく、行財政改革の着実なステップのひとつとして公開ヒアリングを開催したいと考えております。豊橋流のやりかたで改革を進めていきたいと思っております。</p> <p>委員の皆様のご精力的なご議論をお願い申し上げまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。</p>
<p>事務局 (行政課長)</p>	<p>(市長退席)</p> <p>それでは、本日の次第に沿いまして議事に入ります。</p> <p>次第の4(1)委員長及び副委員長の選出に入らせていただきます。資料1をご覧ください。設置要綱の第5条によりますと、委員長は委員の互選により定め、副委員長は、委員長が指名するとされていますので、どなたかご発言をお願いします。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>行財政改革プランの策定から昨年度のプランの進捗管理の仕組みづくりに至るまで、委員長として経験の深い石原委員にお願いしてはと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (行政課長)</p>	<p>石原委員を委員長にとのご意見がございましたが、委員の皆様いかがでしょうか。</p>
<p>委員全員</p>	<p>異議なし</p>
<p>事務局 (行政課長)</p>	<p>ご異議がないようですので、石原委員を委員長とすることで決定しました。副委員長は委員長が指名することになっておりますが、本日は石原委員長が欠席ですので、選任された場合にどうするか伺ったところ、世羅委員をご指名でしたので、世羅委員よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、ここからは世羅委員に進行をお願いしたいと思います。</p>

発言者	要 旨
世羅副委員長	それでは、(2) 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会運営要領(案)について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (行政課主幹)	<p>行財政改革プラン実施要領(案)の中では、要綱で定めなかった細かい部分について説明をしております。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本委員会は公開とする(ただし委員長が必要と認める場合は非公開とする)。 2. 委員会の議事録を作成し、委員の了承を得て公開する。 3. 正副委員長に事故があった場合は、あらかじめ委員長が指名した代理者が議事を進行する。 4. その他会議の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。 <p>説明は以上です。</p>
世羅委員	この委員会自体が公開ということによろしいか。
事務局 (行政課主幹)	次回以降の委員会の開催予定については市ホームページで公表し、当日の会議も公開されます。
世羅副委員長	<p>ありがとうございました。それでは、資料2のとおり、本委員会を運営していくことに決定いたします。</p> <p>次に、(3)の平成24年度豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会の進め方についてです。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (行政課主幹)	<p>外部検証委員会の進め方(案)では、公開ヒアリングまでのスケジュールを説明しています。</p> <p>公開ヒアリング含め、会議は4回の開催を予定しています。</p> <p>委員の皆様には評価していただく158取組の評価シートにつきましては、4月26日までにメールと郵送でお送りいたします。</p> <p>委員の皆様には評価シートの外部評価を行っていただき、5月11日までにシートを返送していただきます。</p> <p>5月30日の第2回委員会において、取組項目の内部評価についての、委員の皆様による書類評価を決定します。その場で各委員の評価の視点を調整したいと考えております。</p> <p>6月22日の第3回委員会では、公開ヒアリングで取り上げる項目を決定したいと考えております。</p> <p>7月14日が公開ヒアリング本番となります。市役所の庁舎内で行う予定です。7月初旬には広報とよはしや市ホームページなどで市民に向けて公開ヒアリングの周知を行います。</p>

発言者	要 旨
世羅副委員長	ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見はございますか。
総務部長	<p>補足説明をさせていただきます。</p> <p>行財政改革プラン評価実施要領7ページにありますように、公開ヒアリングをどのように行うかについては委員会で決定させていただきます。また、公開ヒアリングで取り上げる項目については10取組を想定しております。委員の皆様は2班に分かれて、1班あたり5取組のヒアリングを担当していただきたいと考えております。</p> <p>事業仕分けとは違い、廃止・継続を決定するのではなく、外部の意見を聞くという形で進めていきたいと思っています。</p>
世羅委員	ヒアリングで取り上げる項目はどのように決定するのか。
総務部長	<p>基本的には委員会に決定していただきたいと考えております。しかし、事務局である程度項目を絞り込み、それを参考にして決定していただくことを想定しています。</p> <p>書類評価に関しては、158取組全部を分担して評価していただく形を取りたいと思っています。</p>
世羅副委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、次に(4)の書類評価の実施方法(案)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (行政課主幹)	<p>158取組の内部評価については、各部局の担当者が評価者となって評価をし、その後部局長の判断を仰ぎ決定しております。評価方法は、A(計画を超える達成)、B(計画達成)、C(完了)、D(未達成)、E(中止)の5段階です。</p> <p>職員による内部評価を踏まえて委員の皆様に行っていただく外部評価では、内部評価結果について妥当・要検討2段階で評価させていただきます。</p>
事務局 (行政課長)	外部評価が妥当となった場合は、市役所と委員会の見解が一致したということで、委員のコメントは原則として求めない、とします。外部評価が要検討となった場合にコメントを記入していただきます。
大久保委員	評価シートの見方についてだが、最終的には27年度に目標を達成するとの考えで、年度ごと段階的に取り組んでいるとみなしてよいのか。

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	そのとおりです。年度ごとの計画に対して達成できたのか、できていないのかを評価していただきたいと考えております。
事務局 (行政課主幹)	<p>補足説明をさせていただきます。</p> <p>資料4の案1・案2というのは、委員お1人が158項目すべてを見るのではなく、8名で分担して行っていただくものです。お1人あたり40項目程度の担当をお願いしたいと考えております。</p> <p>案1では、上段4名の部分を以前から行財政改革に関わっていただいている委員、下段4名を今回加わっていただいた新委員に担当していただき、新旧委員がペアとなって評価シートを見ていくというものです。</p> <p>案2では、多くの委員さんに関わりながら評価シートを見てもらうものです。</p> <p>ペアがよいのか、シャッフルした方がよいのかは委員の皆様を決めていただくのがよいかと思えます。</p>
世羅委員	<p>各委員が評価シートを見ていく中でどうしても資料が欲しいものが出てくるが、その場合の対応はどのようにするか。</p> <p>また、資料を出せなくて意見が出せない場合はどのようにするか。</p> <p>5月30日の第2回委員会は委員2人の意見をすり合わせるのか。委員会の意見を決定するのか。</p>
事務局 (行政課長)	資料については事務局に依頼していただければ担当課にお願いして出してもらおうようにします。質問などあれば気軽に問い合わせさせていただきたいと思えます。
総務部長	事務局としては5月30日に評価のすり合わせをしつつ、委員会の合意を得たいと考えておりましたが、すり合わせが必要なのか、各委員のご意見・評価を尊重すべきかどうかは委員会の判断にお任せしたいと思えます。
世羅委員	ヒアリングまでは取組の担当者と話す場はないのか。
総務部長	直接話をすることは今のところ想定していませんが、事務局を通じて質問に答えてもらうことは可能です。

発言者	要 旨
世羅委員	内部評価と外部評価で意見が違う場合は公開ヒアリングの場で意見交換を行うが、事業仕分けではなく、あくまでもアドバイスを与える場として開催するということによろしいか。
村松委員	例えば評価シートの見本としてお示しいただいている3枚のシートのうち、105番の取組項目では、バナー広告収入の目標額をまったく達成していないからDとなっているが、24年度を見るとさらに目標額が増えている。今後の展開を予測するのに23年度の実態を踏まえていない。先を見た取組が感じられない。
事務局 (行政課長)	基本的には23年度の取組内容にコメントをいただき、市側がそのコメントを受け止めて次年度以降の取組内容を修正します。
総務部長	評価シートに記載してあるものはあくまで5年間の当初計画なので、必要に応じて修正する必要があると認識しております。
功刀委員	評価基準があやふやになっている。内部評価に対して妥当だと判断できれば妥当としてよいのか。
総務部長	内部評価だけでなく、取組の内容や今後の展開についての要検討もあり得ると考えております。
功刀委員	話の論点がずれてしまい申し訳ないが、進行スケジュールが厳しい。評価シートを読み込む時間が2週間というのは短すぎるのではないか。
世羅委員	委員の方1人が要検討と評価した場合は要検討としてよいのではないか。
総務部長	そうした方が市役所としても問題意識を持てるのでよいと思います。また、委員同士の意見のすり合わせの必要がなくなるため、評価シートの提出期限を1週間延ばすことができます。評価シートの提出期限は5月21日とさせていただきます。
伊藤委員	要検討と決定した場合、公開ヒアリングのテーマになっていくのか。 というのも、妥当の場合は市と委員会の意見が合っていると考えられ、委員会で要検討とした場合は、市役所とは意見が違うということとなり、その相違を公開ヒアリングで委員会の意見としてお話しすればよいのか。
総務部長	市としては公開ヒアリングでの意見を受け止め次年度以降に活

発言者	要 旨
	かしていきたいと思います。と思っています。
世羅副委員長	それでは担当割りを決めていきましょう。
大久保委員	委員同士の意見のすり合わせが必要ないのなら、違った視点があったほうがいいのではないか。
世羅委員	案2だと委員1人が委員3人とかかわることになり、多くの委員と関わりながら評価を進められる。
富田委員	こちらの案がよいのではないか。
世羅副委員長	では案2で決定します。 評価の進め方について質問はございませんか。
村松委員	評価の次年度以降のプランへの反映度合いが分からない。 公開ヒアリングで市民を巻き込み意見の交換をした結果が反映されなければ着地点が見えない。
世羅委員	行財政改革プランでは5年間の計画を立ててしまっているが、 見直しはあるのか。 見直しはなくても、運営のなかで改善していただけるのか。
総務部長	取組の成果は公表していきたいと思います。 目標を設定しづらいものもありますが、それ以外の取組は前年度との比較や、年度ごとの達成度を公表していきます。
村松委員	要検討を本当に検討してもらえるのか。
事務局 (行政課長)	翌年度以降の目標や取組内容に取り入れていく考えです。 公開ヒアリング後の8月に報告書を提出し、9月議会の参考資料とします。次年度の予算要求に評価結果を反映していくためにも、7月に公開ヒアリングを行い、意見を集約したいと思っています。
功刀委員	目標に掲げる事業に予算がついているならば、予算額も書いていただきたい。もしその事業が要検討だとなれば、民間では予算カットになるのが普通だ。要検討でも当初予算のままであれば、改革の意味がない。 数値目標が出ているならば、数値予測を出してくれると評価しやすくなる。
世羅委員	そもそも予算の付いている事業とそうではない事業があるが、 金額が出ている事業は調査すれば予算についても分かるのか。
総務部長	金額と予算は必ずしも一致しないものがあります。 しかしながら、例えば要検討となって補助金の見直しとなった

発言者	要 旨
	場合、翌年度予算を削るとなれば、委員会の意見が組み入れられる可能性はあります。
事務局 (行政課長)	残りの評価シートも見ていただいて、評価の基準を共有していただきたいと思います。
村松委員	66番の評価シートに関しては、成果が見えにくい。二酸化炭素の削減目標・現状・達成度が具体的でない。
事務局 (行政課主幹)	2011年の実績値はまだ出せませんが、前年対比での数値を載せています。
世羅委員	取組目標は評議会設置と温暖化対策推進の2つあるように見えるが、評議会設置は簡単に達成できる目標だ。温暖化対策に関する補助は一般家庭に行うのか。
事務局 (行政課主幹)	5年間かけて取り組む大きな目標と、年度ごとの目標を分けて設定しています。補助は一般家庭のみでなく民間企業を含めて行っています。
大久保委員	今の話を伺って評価シートの読み方を間違えたら、外部評価の付け方を誤ってしまう可能性があると感じた。
総務部長	各部局が作成した評価シートの中には情報量不足のものもありますので、できるだけ委員の皆様にご評価していただきやすいようシートの修正などを依頼しているところです。
功刀委員	プランの中の59番のシートは、23年度には検討となっているが、検討したら無条件で内部評価がAになってしまう。検討という表現には留意した方がよい。
総務部長	検討中のものは評価できない可能性もあります。基本的に評価しないという方向で統一したいと考えております。
世羅委員	66番の温暖化対策について、プランの中では評議会設置が目標となっているが、設置に向けて何をしたかは書かれていない。
総務部長	目標が手段になっているものもあります。実際には温暖化対策を実施することが目標である、と言えるのではないのでしょうか。
世羅委員	委員会としては、取組をしっかりとやっていれば妥当と判断する。
功刀委員	そもそも目標の立て方が曖昧なものは評価しづらい。
総務部長	そういう意見ももちろんあってもよいと思います。委員の皆様

発言者	要 旨
	<p>のご指摘が次年度以降に目標を具体化させるきっかけとなります。</p>
<p>世羅副委員長</p>	<p>ありがとうございました。 では、最後にその他について事務局から何かあればお願いします。</p>
<p>事務局 (行政課主幹)</p>	<p>次回は5月30日水曜日に本委員会を開催し、本日お配りしました評価シートに記されております市役所内部での評価に対する本委員会としての評価・検証結果を決定したいと考えております。ご多忙の折、また提出期限が短く大変恐れ入りますが、ご協力をお願い致します。</p>
<p>世羅副委員長</p>	<p>それでは、これで本日の外部検証委員会を終了いたします。 ありがとうございました。</p>